

私の第2の故郷

吉田高校 小林葉音

着いた途端に故郷に戻ってきた感じがしました。昨年たくさん通った道路、たくさん見た景色、すてきな人々すべてに胸が踊りました。

今回私は、とても運がよく昨年も行かせてもらった大好きなコロラドスプリングスに高校生派遣事業で戻り、昨年とは一味違う体験ができました。

まず昨年とは違ったことは、昨年よりもっと長く会話ができたことです。昨年は失敗が怖くてできなかった会話も完璧にはできませんでしたがしっかり伝えることができたことです。まだまだ伝えられないことがたくさんあるのでそこはもっと英語を頑張りたいです。

また今年は昨年と違い、格段とホストファミリーと過ごす時間が長く、特にすてきな時間を過ごすことができました。いろんなことについてたくさん話したり、ラフティングやハイキングなどのスポーツをしたり、映画を見たりショッピングをしたりしました。

特に映画では字幕なしで見ましたが、すべて理解できて自信につながりました。いつもテレビ番組を英語で見ているのがよかったと思うのでこれからも続けていきたいと思いました。

特に嬉しかった出来事は、前のホストファミリーとまた会えたことです。昨年お世話になったホストファミリーと今のホストファミリーでご飯に行きました。昨年のホストファミリーは私に会った途端にハグと「元気にしてた？」などとたくさん楽しそうにお話をしてくれて、まるで本当に私の故郷に帰ってきたような感じで心が温かくなりました。そして、日本からとても離れたところに、自分が来たことを心から喜んでくれる人がいるのはなかなか普通はなくて、本当にすばらしいことだと思いました。そして、今回、出会うことができた新しいホストファミリーとのご縁を大切に、もしも次行ったときに彼らにも喜んでもらえるようにするのを目標にしたいと思います。

今回行って、コロラドの好きなところを再発見したのですが、それは人と人の関わり方です。全然知らない人なのに話しかけてくれたり、店員さんもまるで友達のように話をしてくれて、人々の距離が近くてやはり素敵だと感じて、日本でまったく同じことはできないけど、少し困っていきそうな人に明るく声を掛けたり、学校でも明るく誰とでも話すことを心がけたいと思いました。まだまだ素敵だと思ったところはあったので、自分なりに少しずつ自分の周りで取り入れられたらいいなと思いました。頑張りたいです。

今回たくさんの友情も芽生えました。

まずはホストシスターの Mari ちゃんとの友情です。お家にステイしている間、Mari ちゃんとは日本についての話や好きなアーティストの話などたくさん楽しくお話をしました。来年 Mari ちゃんが日本に来た時に Mari ちゃんが私にしてくれたのと同じように緊張していたらそれをほぐすような会話をしてあげるのが私の役目だと思うので、来年までにもっと英語力を上げたいと思いました。

また、同じ派遣団の高校生との友情です。これまで関わりのなかった4人の仲間でしたが、コロラドでの滞在を通してとても仲良くなり、この友情も大事にしていきたいなと思いました。

最後に、今回学んだこと、感じたことをどれだけ自分に生かすかが大事だと思うので、自分なりに吸収したものを自分が使えるようになりたいなと思いました。もう自分の夢は決まっていて、それを叶えるだけなので今回学んだことは必ず夢へとつなげたいと思います。私を成長させてくれたコロラドスプリングスは私の第二の故郷なのでいつか戻って何かコロラドスプリングスのためにできたらいいなと思います。